

／ これからの太陽光発電は“売電”より“充電”が経済的！ ／

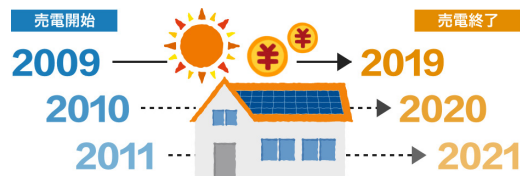
「グリーンモード」で貯めて使う暮らしへ



ご存知
ですか？

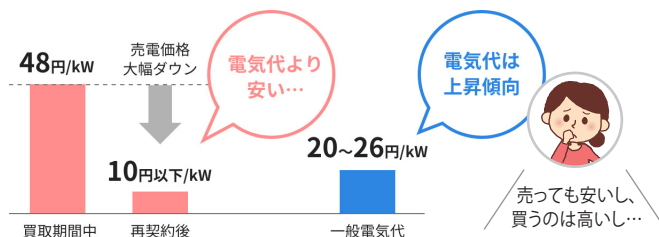
10年間の高価買取期間が終了します

2009年から始まった固定価格買取制度（FIT）で
太陽光発電を高く売電できた期間が2019年以降順次終了します。



売電を続けると損に…!?

新たに電力会社や電気買取業者と契約すれば、
余った電気を売ることはできますが、今の1/5程度の
価格に。一方で、電気代は上昇傾向にあります。

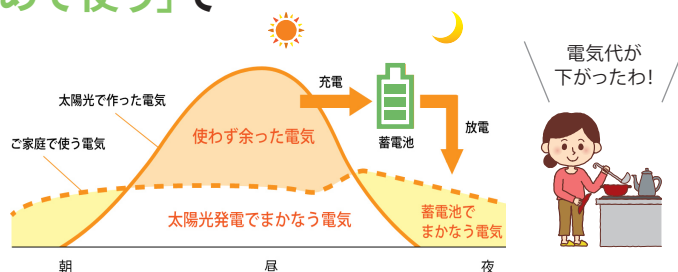


➡ 昼間の発電の余りを売電に回されてきた家庭（経済モードでの運用）では、検討が必要です。

これからは

発電の余りは、売るよりも「貯めて使う」で 買電を抑えるのがおトク!

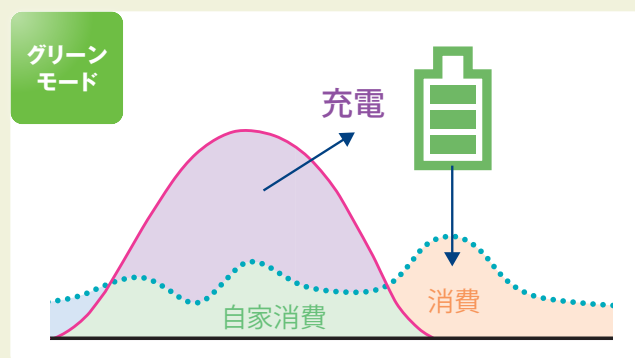
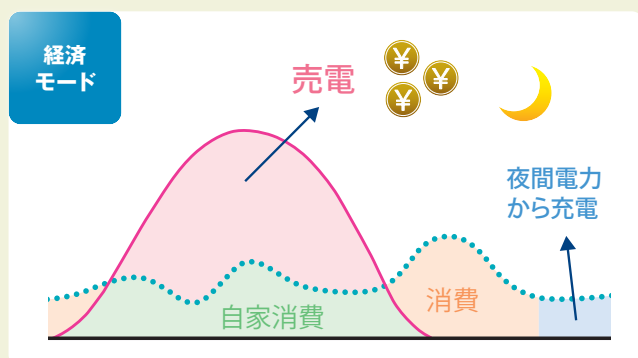
発電で余った電気は売らずに蓄電池に貯めておけば、
夜必要な時に使うことができ、電気代を削減。売電収入は
減っても、支出を抑えられるから、もっとも経済的な選択です。



発電の余り分を充電するには“モード切替”が必要です

「経済モード」から「グリーンモード」へ変更してください

経済モードでは発電の余り分が売電優先になりましたが、グリーンモードでは充電を優先します。



モード切替方法は裏面でご紹介します



すぐできる!

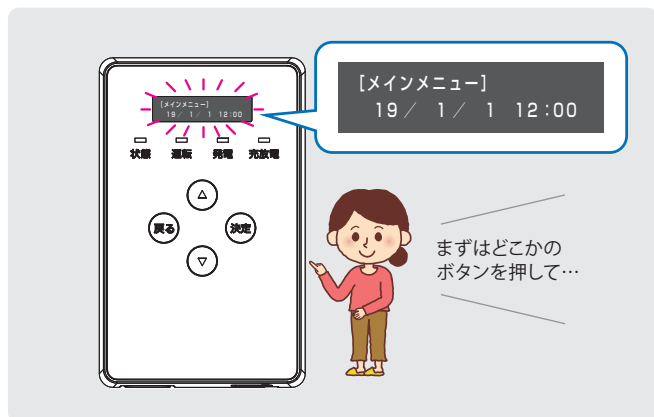
グリーンモードへの切替 (KPAC-Bシリーズの場合)



蓄電システムをグリーンモードに変更したい場合は、蓄電システム用ゲートウェイ KP-GWBT-Aを操作します。

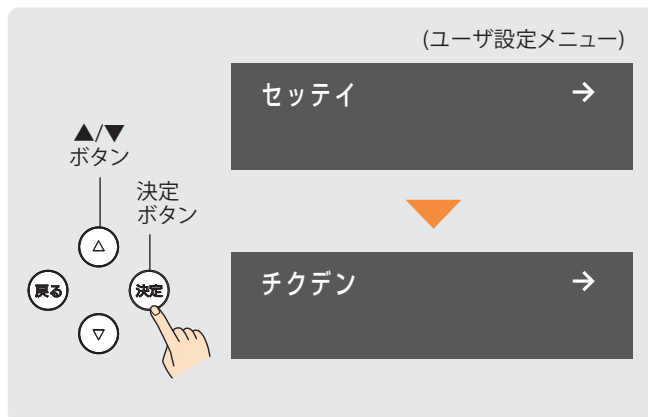
1

いずれかのボタンを押して、表示部にメインメニューを表示させます。



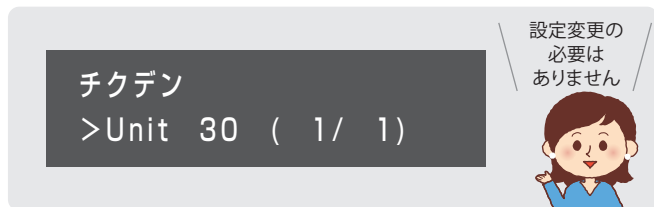
2

▲/▼ボタンで「セッテイ」を選択し、決定ボタンを押します。続いて、▲/▼ボタンで「チクデン」を選択し、決定ボタンを押してください。



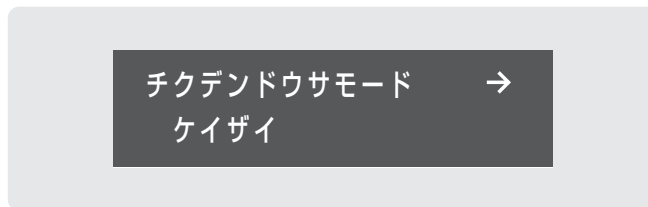
3

蓄電パワーコンディショナのユニットNo.が表示されますので、決定ボタンを押してください。



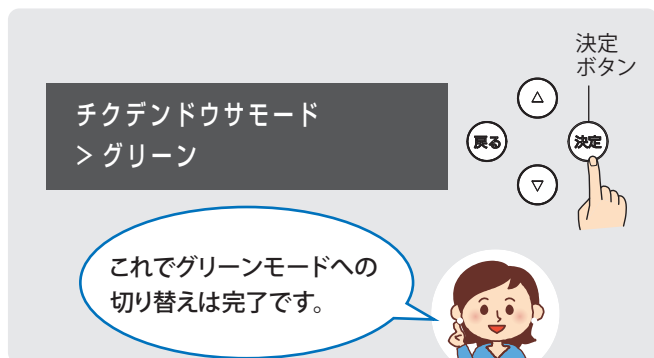
4

▲/▼ボタンで「チクデンドウサモード」を選び、決定ボタンを押してください。



5

▲/▼ボタンで「グリーン」を選び、決定ボタンを押します。戻るボタンを数回押すと、メインメニューに戻ります。



※太陽光発電システムを併設していない場合は、グリーンモードに設定しないでください。

※必要に応じて、「SOC下限(*)」と「SOC上限(*)」も変更してください。

(*)・SOC下限…停電に備えて常に残しておく蓄電残量＝「ここまでは使う量」のことです。
[設定範囲]グリーンモード：0～30% (初期値0%)

・SOC上限…夜間に電力会社様の電気で充電する量＝「寝ている間に貯める量」のことです。
[設定範囲]グリーンモード：0～100% (初期値 0%)



詳細につきましては、
オムロン環境事業本部HPのQ&Aのページでもご紹介しています
<http://www.faq.energy-innovation.omron.co.jp/faq/show/8419>

スマホはこちら

